

特定非営利活動法人

明るいシステム倶楽部 会報7月号

令和5年7月1日

(2023年)

コロナ禍の影響もひと頃から打って変わり、社会的に正常化へ向かいつつあります。もともと、全てがコロナ以前の状況に戻るわけではありませんが、日本だけ世界の潮流に後れを取るわけには行かず、日本全体のかじ取りが難しい状況に入ってきたとも言えます。

第60回 明るいセミナーの開催;6月9日(金)14時から16時30分

この度、本セミナーには、(株)天彦産業・樋口友夫取締役会長にご登場頂き、ご来場の皆様には昨今の社の明るい雰囲気を感じていただけたかと思えます。

今回参加できなかった会員の方々のために、その雰囲気の一部を味わっていただければと、若干我流の捉え方も入りますが、印象に残った点を別頁の速報でお伝えいたします。

令和5年度通常総会を終えて

去る6月21日、恒例の通常総会を開催し、滞りなく各議案をご承認いただきました。

今年度の事業計画におきましては、当倶楽部と会員との距離を更に縮め、倶楽部と会員間あるいは会員同士の交流等をより活発化できないかという視点で、諸行事をグレードアップできればと考えております。

< 7月の送付物 >

- ① 日本一明るい経済新聞 7月号
- ② ビープラッツプレス 最新号
- ③ 年会費納入のお願い (該当者のみ)

明るいシステム倶楽部の
ホームページへようこそ
QRコード



< 7月以降の主な活動予定 >

7/1(土) 気楽な ZOOM サロン(31)	当倶楽部会員専用の交流の場です	20:00~21:30
7/19(水) 役員会議(36)	今年度事業計画の具体化等	13:30~14:40
7/19(水) 明るいシステム検討会議(19)		15:00~16:00

AKS 市民大学 (ZOOM 形式)・・・開催する曜日に一部変更がありますので、ご留意下さい。

7/12(水) 菊池教室(30)	「感性を育む和学講座」	20:00~21:30
7/22(土) 宮崎教室(34)	「あっ！と驚く問題解決法」	20:00~21:30
7/25(火) 柴原・松居教室(23)	「みんなで考える明るい職場」	20:00~21:30

「明るく・より良く生きるための「新・終活」と法的武装講座」
勉強会 その4.

黒田 能弘(くろだ・よしひろ)

先日、映画『銀河鉄道の父』を鑑賞し、いまその原作を読んでいます。なかなか本題の「新・終活」の話に入れず、取り急ぎ皆さまへお伝えしたく、この勉強会の番外編です。

久しぶりにひとりで行きました。シニアですから1,200円です。座席指定のチケットを買うのですが、画面に向かってクリックするのに、加齢のゆえか、指先の反応が悪くスムーズにいかず、とまどいました。わたしの後ろに並んでいる人がいなかったの、ゆっくりと行えました(ひと安心)。(笑い)

この映画は、ご存じ宮沢賢治の父(役者は、役所広司さん)が、生前は無名だった息子・賢治という作家を支えた親子関係を復元したものであろう、その家族の物語です。わたしたちが小学生の頃から中学生の頃に学んだと思われる、例の「雨ニモマケズ」が蘇ってきたのです。確かに当時、ある感動をもって男の先生の朗読を聴いた記憶があるのです。原作より再掲してみましょう。

雨ニモマケズ 風ニモマケズ
雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ
丈夫ナカラダヲモチ 慾(ヨク)ハナク
決シテ瞋(イカ)ラズ
イツモシヅカニワラツテキル
一日ニ玄米四合ト
味噌ト少シノ野菜ヲタベ アラユルコトヲ
ジブンヲカンジョウニ入レズニ
ヨクミキキシワカリ
ソシテワスレズ 野原ノ松ノ林ノ蔭ノ
小サナ萱ブキノ小屋ニキテ
東ニ病氣ノコドモアレバ
行ッテ看病シテヤリ
西ニツカレタ母アレバ
行ッテソノ稲ノ束ヲ負ヒ
南ニ死ニサウナ人アレバ
行ッテコワガラナクテモイ、トイヒ
北ニケンクワヤソシヨウガアレバ
ツマラナイカラヤメロトイヒ
ヒデリノトキハナミダヲナガシ
サムサノナツハオロオロアルキ
ミンナニデクノボートヨバレ
ホメラレモセズ クニモサレズ
サウイフモノニ ワタシハナリタイ

いかがでしょうか？ 当時の感動が蘇ってきませんか？ これって、いまどきの幸齢者の心境ではないのでしょうか・・・？ ここには、教養！と教育！があります。わたしは、大いに参考にしたいと思いました。

前回からの続きです。 3. 死後事務の委任契約(あなたのご希望の葬儀・納骨、遺品整理の手配、生命保険の受け取り、銀行等の解約手続きなど)による死後事務仕事人です。これも公証役場で「公正証書」として契約します。次回以降にお話しさせていただきます。

“いい呼吸”を広める呼吸道場 代表 兼 NPO法人高齢者・障がい者後見人の会 代表

◆開山忌 開祖 鑑真大和上の来朝 1270 年 円寂 1260 年 「唐招提寺」
 山号はなし 律宗の総本山（奈良市）
 本 尊： 盧舎那仏
 阿久根 芳臣

行 程：大阪市内から 30 k m（阪高東大阪線、第二阪奈道路、国道 163 号）

ここ「唐招提寺」は大阪市内から車で 30 分、電車でも近鉄・橿原線西ノ京駅まで 1 時間ほどで行ける手近な観光名所だ。同駅には薬師寺もあり“アメリカザリガニ”の居る水路沿いを北へ 500 m も歩けば唐招提寺の南大門に至る。私も小学生の時にも来たことがあり、若草山と並んで大阪からの遠足の定番コースだ。

今年、令和 5 年（2023）は標記にもある通り特別な開山忌であり、コロナ明けと御影堂（重文）の修理完了もあってか、全国から観光バスや他府県ナンバーの乗用車が駐車場に並び、特に特別拝観も賑わっていた。

例年、開山忌にあわせてお厨子が開かれ、国宝「鑑真和上座像」の本物を拝めるのは 6 月 5～7 日の 3 日間だけだが、今年は 3～7 日の 5 日間に延長されていたのでスケジュールが遇い先回の平成 27 年（2015）以来、都合 5 回目にして初めて“日本最古の肖像彫刻”とされる本物を拝めることが出来たことには大感激であった。

又、国の重要文化財である御影堂は 2017 年から修理に入り昨年（2022）春に 6 年かけて完了したもので、「御影堂障壁画」（東山魁夷画伯奉納）の特別開扉も行われた。通常の拝観料 ¥1000 の他に特別拝観料として ¥1000 が必要だが、国宝「鑑真和上座像」と合わせて十分値打ちのあるものであり、案内から接待まで沢山の係員が総出で準備してくれていたのうなずける料金だ。

今後は毎日開扉している「鑑真和上お身代わり座像」しか拝観できないが、薬師寺と併せて是非、足を運んでほしい。これからの季節に行かれる方には夏の絶品スイーツを“内緒”で紹介させていただきます。

近鉄橿原線の東側を平行して走る南行き一方通行の市道（先のアメリカザリガニの居る水路）があるのですが、唐招提寺の南大門側から 100 m ほど南進したところにあるお食事処「大納言」です。ここの絶品かき氷「宇治金時」は何人にも紹介していますが、皆「地獄に仏」と歓喜します。夏の暑い盛りですから無理ありませんが、奈良の夏の思い出に是非、ご賞味ください。毎年の盛夏にはまた「唐招提寺」に行きたくなることでしょう。

今からでも自宅のトイレのカレンダー
 の 12 月分の下端に

6 月 5～7 日「唐招提寺」
 ～「大納言の宇治金時」～
 「薬師寺」と“カキコ”して

おきましょう♪（笑）

今年の夏も元気に乗り切りましょう。

金堂（国宝）



千手観音立像（国宝）



(株) 天彦産業・樋口取締役会長のご講演を伺って

高村 和義

この度、樋口友夫会長に「明るいセミナー」にご登場頂き、自社の変遷、会社と従業員との信頼関係や経営理念など、何時間でも話される勢いで縦横無尽にご披露いただいた。

「自分で幸せにする」

冒頭で切り出された話ですが、「自分が幸せになる」という考え方も大切かもしれないが、自分自身が主体的、能動的に幸せをつかもうとする気持ちが大切だと強調された。

人が育つ土壌としての職場の環境整備

会社を「一つの大きな家」と考えれば、従業員は皆「家族そのもの」である。

また、相互の意思疎通をよくするためには、同じ目線に立つことが大切である。

職場が安心できる場所であることは、従業員の力を存分に発揮してもらえる前提である。これらが永続する企業的前提であり、その中で社員が育つことが企業の基盤づくりとなる。

「ボーナスなんか、いりません。」

2008年9月のリーマンショック後、翌年度の第一4半期売上げが7割も減り、会社として夏季ボーナスを出すところではない時期があった。そうした中、朝礼にて社長の決断で出すと言ったら、一人の女性社員が血相を変えて社長室に飛び込んできて「何でこんな時にボーナスを出すんですか。」と。社長が「経営者のプライドや！」と言ったら、「じゃあ、ご自由に」と言って社長室を出て行った。社長はその場に立ちつくし、勝手に涙がポロポロ出てきた。

「社員第一主義」で本当に大丈夫なのか

当初、周囲からは随分と反対された時期があった。しかし、有給休暇消化率が増えたら会社が実際儲かったという嘘みたいな話が現実化し、消化率が70%から78%が増えたら仕事の効率が100%から120%になった。もっとも、そのためには業務ローテーションの工夫や休みやすい風土づくり等が大事になってくる。更に、企業が健全に永続すれば新たな社員を呼び込む結果にもつながる。人手不足の現状において無視できない要素である。

社員尊重は、「しんどなったら休んでくれ。」ではなく「元気で休んでくれ。」と呼びかける処にも現れ、人間ドックほか各種福利厚生に会社負担を惜しまない姿勢がある。

自分たちの会社という意識、風土ができるか

経営数値をオープンにし、社員一人一人の気づきを重んじる姿勢が全員経営に結びつく。

最後に、以前、当欄にご登場いただいた東海バネ工業(株)の渡辺良機顧問(前社長)からいつも口酸っぱく言われていると、樋口会長も苦笑いされた言葉をご紹介します。

「社長の仕事は、社員のモチベーションを高めること」